



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章
(コード番号：3538東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 経営戦略本部長 宇田川 宙
(TEL. 03-5730-0589)

連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024 年 8 月 14 日に公表しました2025年 6 月期の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年 6 月期連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する 当 期 純 利 益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	88,342	2,528	2,488	1,438	158円 12 銭
実績 (B)	88,614	1,849	1,897	1,443	158 円 43 銭
増 減 額 (B - A)	271	△678	△591	4	—
増 減 率 (%)	0.3	△26.8	△23.8	0.3	—
(参考) 前期連結実績 (2024年 6 月期)	47,745	1,497	1,562	1,120	116円 00 銭

2. 差異の理由

連結売上高につきましては、ほぼ予想値どおりとなりましたが、連結営業利益/連結経常利益は、業績予想を下回りました。

主な要因としましては、輸入車ディーラー事業において、新車販売台数が想定を下回りました。ドル及びユーロに対する円安が長引いており、輸入車の車両価格は高止まりが続いております。2024年国内輸入車新車販売台数は2011年以来の低水準まで落ち込みました。また新規にM&Aにより取得した事業の当初赤字額が想定を上回ったことに加え、PMIに時間を要し、収益を大きく押し下げる要因になりました。

中古車輸出関連事業におきましても、マレーシア向け輸出ビジネスが繁忙期である下期に想定を下回りました。当社取り扱い車種の中古車市場への供給量が急増したことに加え、これまで継続して円安基調であったマレーシア通貨が円高基調に推移し、現地輸入業者からの需要が弱いものとなったためです。

一方で、減損損失を249百万円計上したものの、負ののれん発生益308百万円及びEV充電器設置等に関連する助成金収入85百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する当期純利益は、ほぼ予想値どおりとなりました。

なお、配当予想につきましては、前回公表値より変更ありません。

以上